

Arcserve Backup r17.5 新機能ガイド

Arcserve Backup r17.5 の新機能

Arcserve Backup r17.5 は、最新プラットフォームへの対応に加えて、初期投資を抑えた効率的な運用が可能なクラウドを活用したバックアップとリカバリ機能が追加されています。また、さらなる統合管理機能の強化と使い勝手の簡単さを追求した機能が追加されています。

クラウド環境への直接バックアップ

バックアップ先として、テープ、ディスクに加えてクラウドを指定することで直接クラウドストレージにバックアップできるため、災害対策をより簡単に実現できます。また、データの復旧時は、自動的に最適なバックアップ先を選択するスマートリストア機能により簡単な復旧が可能です。

Amazon Storage Gateway VTL のサポート

Amazon Storage Gateway が提供する仮想テープライブラリをオンプレミスサーバのバックアップ先として利用できます。これにより従来のテープ運用を大きく変更することなく、バックアップデータのクラウド保管を実現し、災害対策を強化できます。

Windows Server 2016 のサポート

Windows Server 2016 をサポートします。また、バックエンド データベースとして SQL Server 2016 を利用できるようになりました。従来からの操作性と簡単さをそのままに、災害復旧やアプリケーションのオンラインバックアップが可能です。

詳細は、 arcserve.com/jp 製品ページをご覧ください。

Copyright © 2017 Arcserve. All rights reserved. 参照するすべての登録商標、商標名、ロゴ等はそれぞれの所有者に帰属します。

本資料は、情報提供のみを目的としています。Arcserve は本情報の正確性または完全性に対して一切の責任を負いません。Arcserveは、該当する法律が許す範囲で、いかなる種類の保証（商品性、特定の目的に対する適合性または非侵害に関する黙示の保証を含みます（ただし、これに限定されません））も伴わずに、本資料を「現状有姿で」提供します。Arcserve は、利益損失、投資損失、事業中断、営業権の喪失、またはデータの喪失など（ただし、これに限定されません）、本資料に関連する直接損害または間接損害については、Arcserveがその損害の可能性の通知を明示的に受けていた場合であっても一切の責任を負いません。